

事業所名 放課後等デイサービス りっと伊崎田

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

20日

| | | | | |
|-----------|-----------------|--|---------|--|
| 法人（事業所）理念 | | 感謝を増やし幸せをつくる | | |
| 支援方針 | | 職員との信頼関係を基盤として、楽しく通っていただけるようさまざまなプログラムや遊び、活動を提供していく。その中で、各児童の発達段階や障害特性等に応じた支援を行い、自立の促進や集団活動への参加意欲向上等を支援する。これらの支援を通して、児童の自己肯定感を高め、生活全体がよりよいものになるように支援を行う。 | | |
| 営業時間 | | 通常授業14：00～18：00／短縮授業11：30～18：00／ 土日祝10：00～16：00／長期休校9：30～17：30 | 送迎実施の有無 | あり |
| 支 援 内 容 | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 基本的な生活習慣の獲得や日常生活動作の獲得と、それらの維持・般化を支援する。具体的には、トイレトレーニングの実施、洋服の畳み方の練習、髪をとかす等の身だしなみの練習等を日常的に実施する。加えて、集団課題においても、自分でおやつを選ぶ課題や実際におやつを作る課題等を通して、食への関心や理解を深め、さまざまな味にチャレンジすることにつなげていく。また、集団課題においては食だけでなく、例えば気温に応じた衣服の調整を学ぶ課題を取り入れる等、包括的な視点から児童の健康と生活をサポートする。 | | |
| | 運動・感覚 | 姿勢保持や歩行の安定、ボディイメージの獲得等のために、上下肢・体幹のトレーニング等を実施し、身体機能の向上を支援する。具体的には、日常生活の中での移動等の介助に加えて、運動サーキット、ダンス、筋肉トレーニング等の集団課題を実施する。また、季節の制作や微細運動課題等の指先を動かす集団課題を実施し、巧緻性の向上を目指す。加えて、感覚過敏・鈍麻に関しては必要な合理的配慮を実施し、児童本人の様子を見ながら職員が寄り添い、新たな感覚刺激にも触れる機会を設ける（スライム・ねんど遊び等）。 | | |
| | 認知・行動 | 視覚刺激や聴覚刺激への反応性を高めたり、記憶力や認知思考力の向上等を支援する。例えば、集団課題としてビジョントレーニングを実施して目の使い方を学んだり、自由時間にカルタとりをして遊びながら聴覚刺激への反応を高める等の支援を提供する。加えて、適応行動を促進するために、日頃から適切な行動に対しては、すぐに褒め、行動の定着をはかる。新たに行動形成を目標とする場合には（たとえば、着席や集団場面での発言等）、スモールステップを用いて児童本人が自信をつけられるように支援を行う。 | | |
| | 言語 コミュニケーション | 言語（理解語・表出語）についての理解を促したり、ジャスチャーやサインを用いてのコミュニケーション能力の向上等を支援する。具体的には、集団課題において物語に触れる課題を実施したり、ハロウィン等の季節イベントの際にお友達とコミュニケーションを取るレクリエーション等を実施する。また、児童の発達段階に合わせて日頃から職員が積極的にコミュニケーションを取り、発語につなげたり、活舌の改善を目指したり、適切な文章構成で会話をする練習等を行う。 | | |
| | 人間関係 社会性 | 職員が児童の安全基地になれるように丁寧に関わり、その関係性を基盤として、児童の情緒の安定をはかる。加えて、他者意識の促進や対人関係スキルの向上等を目標として、チーム戦で行うレクリエーションやソーシャルスキルトレーニング等を集団課題において実施する。また、自由遊びにおいては、遊びの発達段階が発展するように職員が仲介しながら関わったり、複数の児童で1つの遊びを実施し、ルールや協調性を学び、社会性の向上を支援する。 | | |
| 家族支援 | | 家族（きょうだい児等を含む）の状態、親子間の相互作用を広くアセスメントする。児童のまはろ・家庭・学校での様子を共有しあうだけでなく、家族の困り感に寄り添い、困り感の解消に向けて家族との話し合い、気持ちの聞き取り等を実施する。 | 移行支援 | 生活介護やグループホーム等への移行支援、地域の学童クラブ等への移行支援を必要に応じて実施する。その際には、児童の気持ちを大切にしながら、家族、関係機関と密に連携を行う。 |
| 地域支援・地域連携 | | 学校や関連機関（相談支援事業所、児童相談所等）との連携を実施している。また、地域との交流について児童館や公園に出かけたり、「まはろ祭り」を実施すること等を通して地域の方との交流を行っている。 | 職員の質の向上 | 定期的な職員研修、入社時の新人研修の実施を行い、常に資質向上に努めている。また、日頃から支援に関するミーティングを実施し、児童の理解を深めるとともに専門的な知見についても職員間で共有している。 |
| 主な行事等 | | 季節のイベント（子どもの日イベント、クリスマスパーティー、ハロウィンパーティー等）、避難訓練（年2回以上の実施）、お出かけイベント、お楽しみランチ（外食をしたり、児童自身が注文をしてお弁当を買ってくるイベント）、まはろ祭り | | |